

4月の産地情報

輪菊	白菊	主な産地は愛知、静岡など。神馬、精興の誠が中心で、昨年並みの出荷量が見込まれる。下旬より精の一世の出荷が始まる。
	黄・赤菊	静岡、沖縄中心。作付け量が減少している為、少な目の出荷量となる見込み。精興光明、光玉、栄山など、夏系の精の光彩も始めとなる。
小菊		沖縄産のみの出荷、作付け量の減少により少な目の出荷が見込まれ、色バランスの崩れも見られる。
SPマム		愛知・静岡・栃木中心の出荷。作付けは昨年並みだが、ピンク系は若干増加傾向。生育は順調。
バラ		各産地潤沢な出荷の見込み。
カーネーション		スタンダードは千葉・長崎、スプレーは静岡中心の出荷。気温の上昇と共に出荷量は増えていく見込み。
かすみ草		数量が落ち着く見込み。昨年より少なく推移する。
リシアンサス		西南暖地の出荷は一旦落ち着き、関東中心の出荷の見込み。
ユリ	オリエンタル	埼玉、千葉、高知中心の出荷で、新潟の平場のハウス物が始まってくる。数量は例年並みの見込みで、生育状況は今のところ順調。色バランスはW:Pが6:4で、カサブランカが品薄となる。
	スカシ・鉄砲	スカシLAは数量例年並みで、埼玉中心の出荷。テッポウユリも同様で、生育状況はやや遅れ気味。
洋ラン類		オンシジウム、デンファレ、ファレノは国産、輸入含めて徐々に数量増えてくる。シンビジウムは国産の数量が減少。カトレアも出荷量が増える見込み。
季節もの		・桜：前進開花。八重系も早く終了してしまう。・カキツバタ等：生育良好。花木が前進生育傾向にある為、販売は要注意。 ・ストック・スナップ：千葉産中心の出荷。前進していた為、中旬で終了する。